岐阜県庁の健康経営　戦略マップ　2027

～力を最大限発揮できる、働く場（ところ）を創る～

健康投資

1 からだの健康

早期発見・予防施策
- 要精検者の受診ﾌｫﾛｰ
- 要指導者への保健指導
- 過重労働健康相談

生活習慣病予防施策
- 健康管理セミナー
- 健康支援アプリ等の導入

2 こころの健康

ストレスチェック施策
- 高ストレス者への医師面談
- 年休取得の推奨

不調者への相談施策
- 専門職によるラインケア
- 心の相談窓口の設置
- 過重労働相談

3 安全対策

事故予防対策施策
- ５Ｓ(整理、整頓、清潔、清掃、習慣化)活動の啓発
- 職場巡視
- 管理職への安全管理研修や啓発

土台となる施策

4 働き方

岐阜県版「働き方改革」
- 柔軟な勤務時間(超短時間　一部会計年度任用職員)
- 柔軟な勤務体系(時差出勤)
- 柔軟な就労形態(在宅ﾜｰｸ, ｻﾃﾗｲﾄ等)

健康投資の効果

健康投資施策の取組状況に関する指標	職員の意識変容行動変容の指標	健康関連の最終的な目標指標
健診・精検受診率	精検受診率	プレゼンティーズムの低減 ※出勤しているが、心身の不調で十分に働けていない状態
特定保健指導の対象率	特定保健指導の受検率	
過重労働健康相談の対象率	過重労働健康相談の受検率	
ストレスチェックの受検率	高ストレス者の医師面接受検率	アブセンティーズムの低減 ※病気や不調による欠勤や休職
高ストレス者率		
精神疾患での長期病休者率		
職場巡視実施率	５Ｓ活動の理解者率	
業務中の事故件数		
時間外労働80h/月超の職員割合	年休の平均取得日数	ワークエンゲージメントの向上 ※仕事にやりがいを感じ、意欲的に取り組んでいる状態
	男性の育児休業取得率	

健康風土の醸成

健康経営の浸透状況	方針実現のための体制・環境	サポート・組織的支援
・知事による働き方改革の推進発言 ・健康経営宣言（仮）	・幹部会議で健康経営を協議	・健康相談を気軽に安心して受けられる体制 ・リクレーション事業の開催

健康課題

１からだ：精検未受診による早期発見の遅れの懸念
２こころ：メンタル不調者の増加
３安　全：高年齢職員の増加に伴うけがや事故発生の懸念
４働き方：画一的な勤務体系がワークライフバランスを損ない、心身の健康リスクを高める懸念

経営方針

「安心」と「ワクワク」にあふれた「人やモノが集まる岐阜県」

健康経営の推進方針

職員が当たり前に健康で活躍できる職場づくり

① 「からだの健康」「こころの健康」「安全対策」「働き方」の４つの柱に基づき、総合的かつ継続的に健康経営の取組を推進

② 職員一人ひとりの健康意識の向上を図るため、研修や啓発、行動変容につながる仕組みを展開

③ 職員の健康管理は、管理職の重要な責務とし対応能力の向上に資する支援策を展開

④ 職員は「しっかり働き・しっかり休む」ことを基本とした健全な働き方を実践

健康経営の目標

職員のパフォーマンスの最大化

「しっかり働き・しっかり休む」

企業的価値

人材が集まる魅力ある組織の実現

社会的価値

安心安全な県民生活の実現

ＫＧＩ（2029年）

からだ：精検受診率　100%
こころ：精神疾患による長期病休者率 1807.4以下
安　全：５Ｓ活動の理解者率　70%
働き方：年休の平均取得日数が全国より上回る